

経営比較分析表（令和2年度決算）

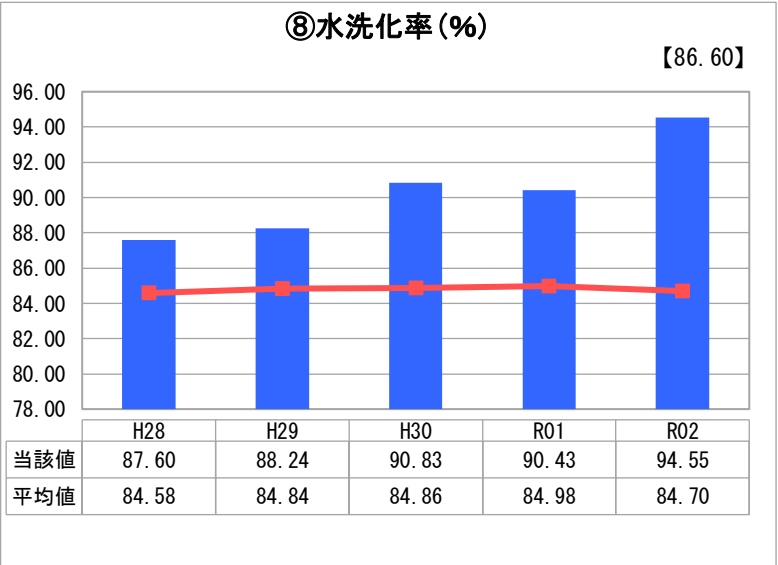
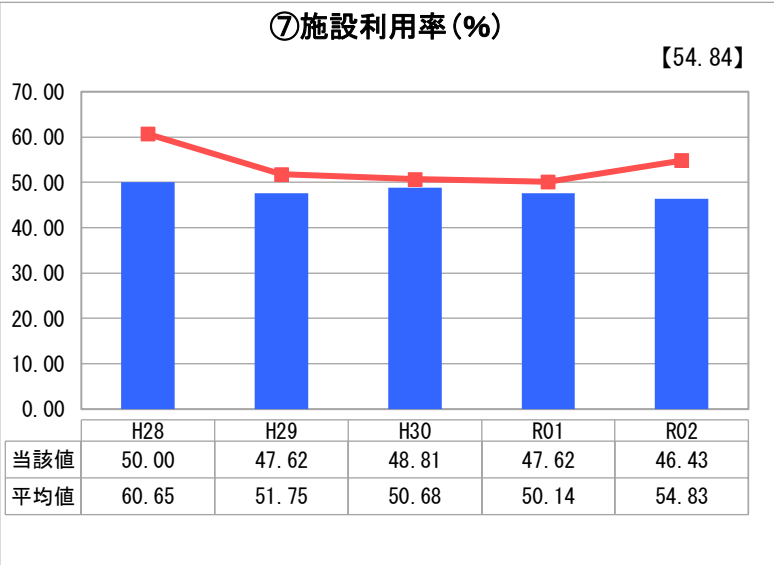
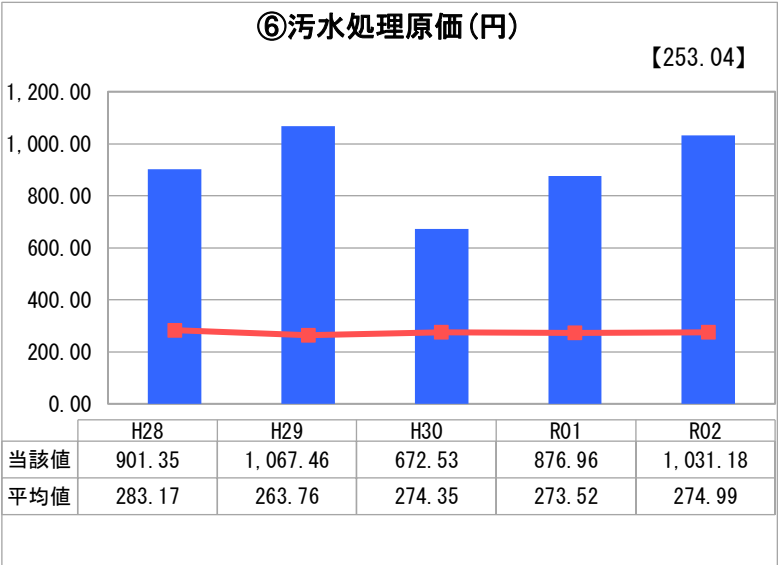
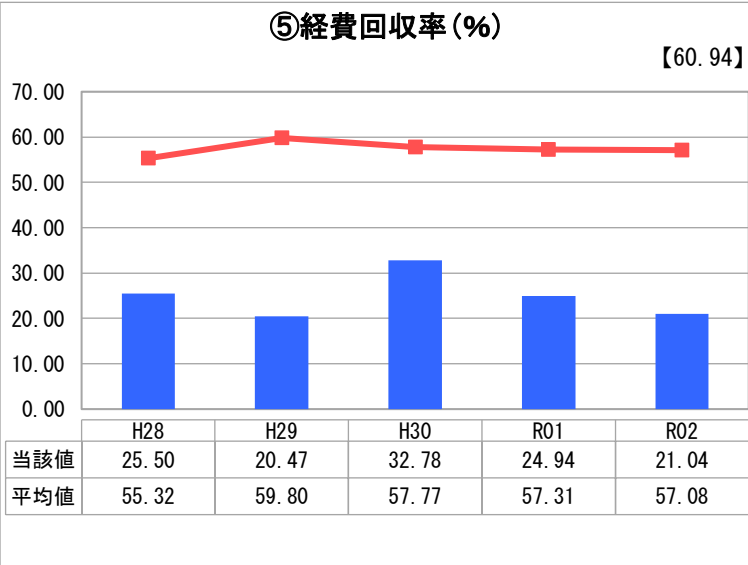
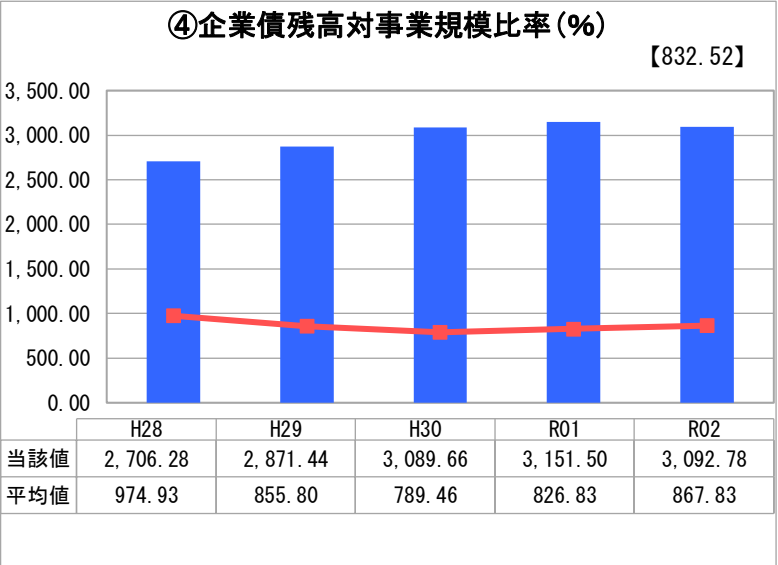
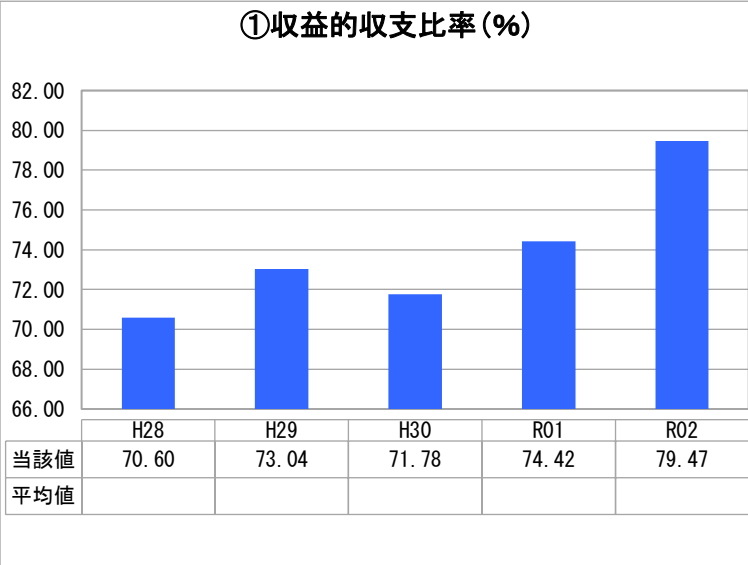
青森県 黒石市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.34	54.03	4,045

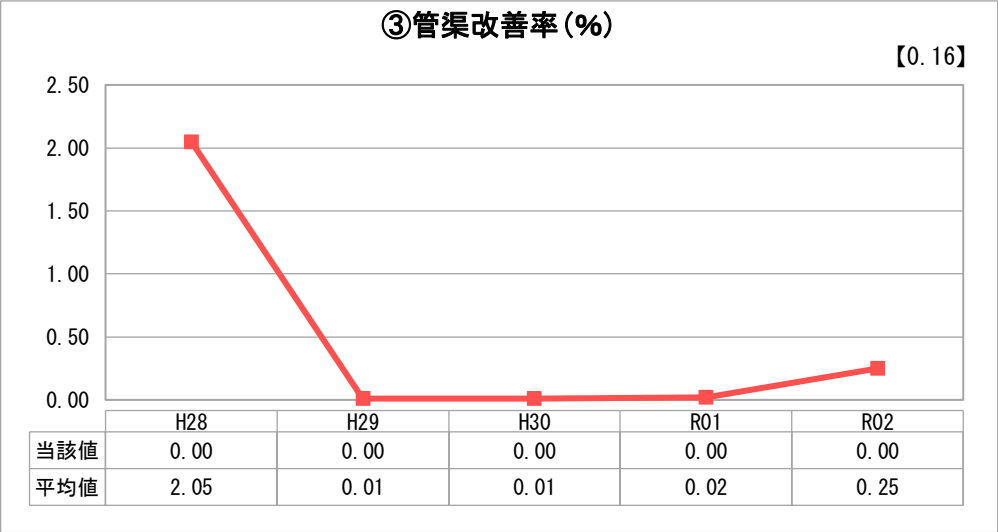
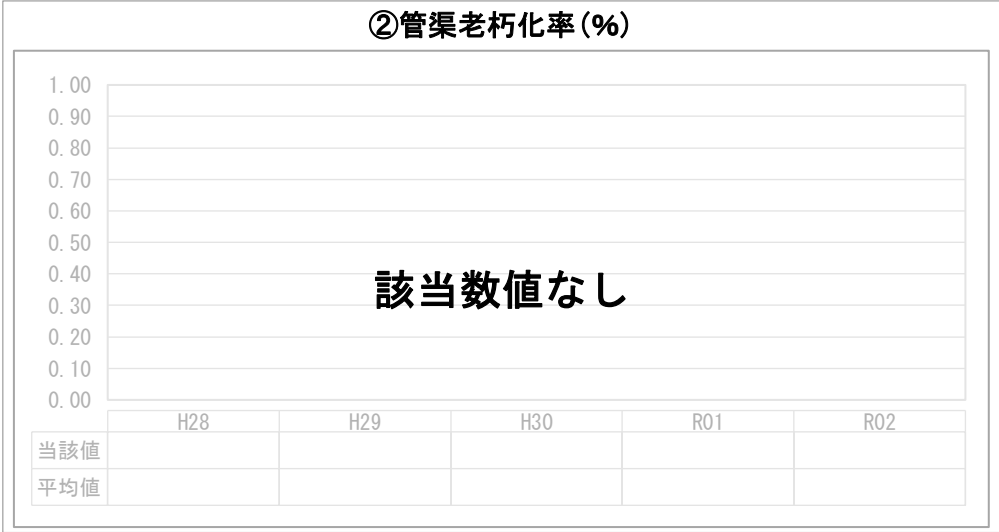
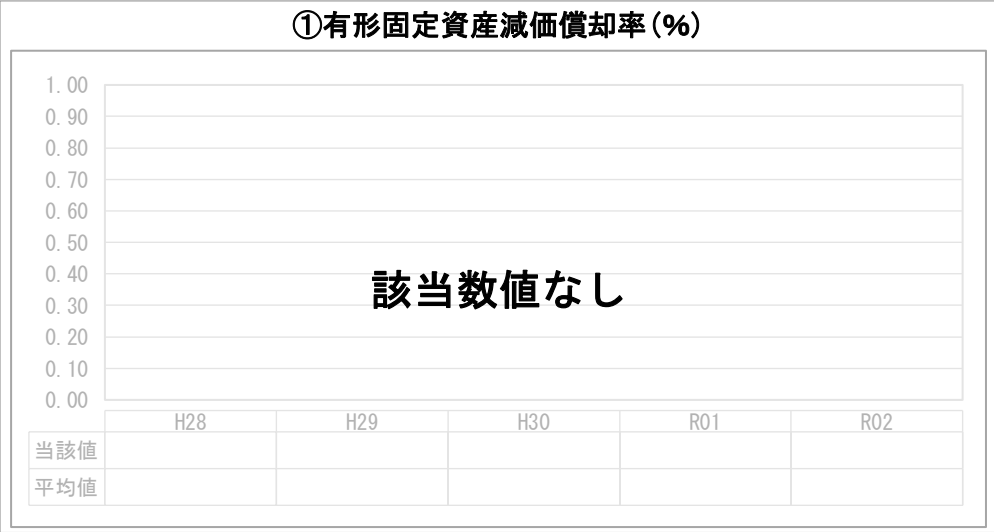
人口（人）	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,530	217.05	149.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
110	0.16	687.50

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当市の農業集落排水事業は人口減少に伴い、使用料収入が減少傾向にある。使用料収入だけでは財源が足りず、多額の一般会計繰入金により賄っている。

令和2年度は使用料収入は減少しているものの、一般会計繰入金の増により収益的収支比率は上昇している。

しかし類似団体平均と比べて污水处理原価は高く、経費回収率も低迷したままである。

また事業の規模に比して企業債残高が多く、償還により残高を減らしてはいるものの企業債残高対事業規模比率は高止まりしている。

使用料の水準は下水道事業（公共下水道）に合わせているが、今後も人口減少により有収水量や使用料収入は減少すると考えられるため、事業の存続や合併処理浄化槽への切り替え等についての検討が必要である。

2. 老朽化の状況について

当市の農業集落排水事業は、平成9年4月1日供用開始であり、管渠等は法定耐用年数までには至っていないため、現在のところ老朽化による更新は行っていない。

今後は、人口減少等により事業の存廃の検討が必要となることから、現時点では管渠等の更新は予定しておらず、維持管理に努めることで現在の施設を用いて事業を続けていく。

全体総括

現時点でも多額の一般会計繰入金に頼っており経営は厳しく、今後も人口減少が進み使用料が落ちるなど経営状況は更なる悪化が予想される。

今後は事業の存廃や合併処理浄化槽への切り替えなどといった、経営改善についての検討が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。